

CD Player  
Control Amplifier  
Power Amplifier  
Preamp Amplifier  
Compo-System  
Speaker

ヘーゲル

# CDP2A

CDプレーヤー

¥315,000

test report by:石田善之



■付属リモコン:金属ボディのしっかりとした作りで重量もあるデスクトップタイプのリモコンを付属。

■出力端子:デジタルは同軸のみで、アナログはRCAのほかにXLRバランスを備える。



■ドライブメカニズム:トレイは欧州製プレーヤーでよく見受けられるやや厚手のもの。動きは標準的で動作音は比較的静か。

●出力:アナログ2系統(RCA×1、XLR×1)、デジタル1系統(RCA) ●出力レベル:2.3V ●消費電力:20W ●寸法・重量:430W×80H×290Dmm・10kg  
■カタログ請求先:〒171-0043 東京都豊島区要町2-19-6  
(株)エレクトリ「カタログ請求・AUDIO BASIC」係 TEL.03-3530-6276

ノルウェー・ブランドの新CDプレーヤー。  
ゆったりとした低域、輝きのある高域で  
ボーカルやテナーサクスを美しくスムーズに再現

## PROFILE

ノルウェーの新ブランド、ヘーゲル。その開発コンセプトは、「生の音楽の音響だけが唯一のリファレンス」。スピーカーから出力される音はレコーディングスタジオで録音されたそのものであり、加えることも欠けることもない音の再生を目指すとしている。

CDP2Aは同社から登場したCDプレーヤーで、上級機にCDP4A(525,000円)もある。基本的な技術、デザインなどは共通で、D/Aコンバーターが本機は192kHz/24ビット、CDP4Aは352kHz/24ビットを投入。オリジナルの低ジッターのクロック回路も採用する。

フロントパネルは、前出のプリメインアンプとも共通の緩やかなカーブを描き、ムクのアルミニウムにシヨットピーニングプラストを施して表面硬度を高めた、独特の風合いを持つ美しいパールシルバー仕上げとしている。

左右ふたつのコントロールボタンは、円周上の表示がある位置3カ所を押すとそれぞれの表示の機能が実行される。つまりひとつボタンで3つの

機能をこなすユニークなデザインで、前出のプリメインアンプHI1などと調和する。

## SOUND

音は全体に窮屈さがなく、音楽を豊かな表情でたつぷりと聴かせてくれる。弦楽合奏の中低域はしなやかに伸びて、チェンバロも豊かな響きの中に輝きがある、いかにも金属弦が弾かれているという生々しさを伝えてくる。S/N感が優れているために、チェンバロやギターなどの弦の弾ける瞬間のディテールまで、その描出も鮮やかだ。

オーケストラの低域はゆったりとした感じで、わずかに音の輪郭は甘くなる傾向。たとえばグランカッサのローエンドの部屋を揺らすような低音は、空間に満ち満ちるが、グランカッサの位置まで明瞭に伝える方向ではない。歌曲ではサ行がやや目立つが、同社の音作りの傾向であるのか、HIと同様、ドラムのスネアやシンバルなどでは、その切れ味の良さにつながる。

それにしてもボーカルやテナーサクスは非常にスムーズに表現されるところは、とても美しい。

# ヘーゲル H1

プリメインアンプ

¥315,000

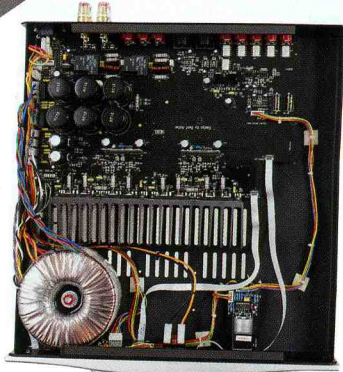
test report by:石田善之



■入出力端子:入力にライン4系統のほかXLRバランス入力を1系統、またプリ出力は2系統を備えている。



●出力:120W+120W(8Ω) ●入出力:ライン入力5系統(RCA×4、XLR×1)、録音入出力1系統、プリ出力2系統(RCA)、スピーカー出力1系統 ●消費電力:400W ●寸法・重量:430W×80H×480Dmm・15kg  
■カタログ請求先:〒171-0043 東京都豊島区要町2-19-6  
(株)エレクトリ「カタログ請求・AUDIO BASIC」係 TEL.03-3530-6276



■内部構成:空間や各部の電磁ノイズの影響を考慮して、左下に大型トイダル電源トランス、中央を横切るようにヒートシンクと出力素子が取り付けられた増幅部が配置される。

- CD Player
- Control Amplifier
- Power Amplifier
- Preamplifier
- Compo-System
- Speaker

## シンプルで美しいデザインのノルウェー製。 明るく快活で、中低域が引き締まった音。 明るく快活なオーケストラ、切れ味良いドラムス

### PROFILE

この7月に日本上陸となったHEGEL(ヘーゲル)は、ノルウェーのブランドで、「音響機器の開発プロセスは弁証法的思考の上にあるべき」というのが設計哲学。すでにお気づきのようですが、その社名は、弁証法を提唱したドイツの哲学者ヘーゲルに由来する。

ゆるやかにカーブしたフロントパネルに大径の円形スイッチというシンプルなデザインは、同社オーディオ機器に共通するイメージで、本機では中央にパワースイッチ、左に入力切り替え、右に音量調節を割り当てている。入力切り替えとボリュームは厚さ17mmのソリッドアルミニウムから削り出したという、ずっしりと重い付属リモコンからも操作できる。

回路の詳細は不明だが、H1は同時登場の上級アンプの技術が投入されており、デジタルボリュームを中心としたプリアンプステージと、独自のフィードバック、フィードフォワード技術を駆使して低歪み化を図ったパワーアンプ回路で構成される。入力は、XLRバランス1系統を含む5系統のライン

### SOUND

入力を持ち、プリ出力も備えている。明るく快活な音で、チェンバロ独奏では音楽のアクセントをはっきりと聴かせる。リート(歌曲)では、歌い手の発声、発音が非常に明快。音の芯もしっかりとしていて、中低域の密度や引き締め感も申し分ない。オーケストラの弦楽器の伸び伸びとした明るさや、金管楽器や金属打楽器の乾いた感じもよく表現され、ドラムカッサの打音もローエンドまでよく伸びている。

大型トイダル電源部によるものか、オーケストラのフォルテ、その最低音域までを十分に再現するだけの力がうかがえる。ポーカーは明解で、わずかにサ行が強めに出る傾向。これは音をはっきりとさせる一方で、ややドライな印象につながることもある。しかし、この音の傾向が、ジャズのスネアドラムでは切れ味が良くなり、全体の音の抜けの良さにもつながっている。テナーサクソフォンのソロ演奏が、明瞭な輪郭で眼前に迫ってくる。ここは快感でもある。ジャズがよくスイングするのも好ましい。